

# ふれあい夢通信

子どもを真ん中に、  
山口県の教育を考える  
教育広報誌  
創刊号

山口県教育庁教育企画室

編集室ホットライン TEL.(0839)33-453

特集

上手な夏休みの過ごし方

## 家族そろって海や山で楽しみ、 木陰で話し合いませんか



楽しい、夏休みがやってきます。  
子どもたちにとっては、待ちにまった夏休みですが、  
家族にとって夏休みにどんな意味があるのでしょうか。  
せっかくの夏休みです。子どもたちにとってだけでなく、  
家族みんなにとっても楽しく充実した「夏」にしたいと思いませんか。

夏休みは「ゆとり」の中で、様々な「ふれあい」  
を体験できる絶好のチャンスです。

大人も子どもも、ともに「ゆとり」の大切さ  
を感じ合い、家族のふれあい、地域とのふれあい、  
自然とのふれあいを深めましょう。

日頃、私たちはものの豊かさと便利さに恵  
まれながらも、なぜか「ゆとり」のない忙しい  
生活を送っています。そのような中で、大人も  
子どもも何か大切なものを見失ってはいない  
でしょうか？

夏休みを迎える今こそ、もう一度、家族や自  
分自身の生活を見つめ直し、次のようなこと  
に心がけて実行してみたいかがでしょうか？

ファミリーな一日を過ごそう！ の絆が深まるかもしれません。

たまには家族で、地域のお祭りに参加したり、  
家族イベントなどを企画したりして、一日を  
ゆっくり過ごしてみませんか。

家族がそろって一緒に過ごす時間を増やし、  
家庭を大切に生活づくりを始めましょう。

家族でトークしよう！

家族で日頃言えないことを話し合ったり、  
時間をかけて子どもたちの意見をじっくり聞  
いてみませんか。新しい発見があったり、家族

自然をエンジョイしよう！

夏休みこそ、家族で一緒に戸外に出かけて、  
自然とのふれあいを楽しんでみませんか。

地域とのふれあいや自然とのふれあいを通  
して、大人も子どもも、心豊かに過ごしましょう。  
そうすれば、またまた、新しい発見があるかも  
しれません。

さあ皆さんにの夏は、新しい出会いを求めて、  
家族で日頃できなかつたことに挑戦し、楽し  
い思い出をつくってみましょう。



# 子どもを中心に、身体をきたえたり、



バランスのとれた生活のリズムをつくろう。

## 小学生は...

小学生の子どもにとって、「遊び」は大切な意味を持っています。とりわけ、自然の中での遊びは、驚きや感動をもたらし、自主性や豊かな感性を育むきっかけとなるはずで

また、友達との遊びを通して、他人を思いやることや我慢することなどを徐々に身につけるよいチャンスにもなります。

しかし、現状は、遊び場や遊びの機会が減少するとともに、屋内での「孤立型の遊び」が目立ち、「遊べない子ども」も現れています。

そこで、夏休みを前にして、子どもたちが野外で遊ぶ楽しさを実感できるような計画を家族みんなで考えてみませんか。また、海や山へ行くプランだけでなく、家族で地域や学校のイベントに参加することもよいかも知れません。

ところで、夏休みは子どもたちが自分の目標を決めて、チャレンジするのに最適です。

子どもの自主性を育てるために、親子が一緒に一日のスケジュールを立てて、規則正しい生活ができるよう援助することも大切です。

とかく、親は、子どもの「苦手な部分」にばかり目がいきがちですが、この夏休みには、しっかり子どもとつき合い、「得意な部分」にも目を向けて、時にはしっかり誉めてみてはいかがでしょうか。

## 先輩からのアドバイス

### 25m泳げるようになった！



佐波中学校 1年 伊藤 浩明

小学4年の夏休みに25泳ぐ目標をもって練習しました。最初は数回しか泳げなかったけれど、練習を重ねたら、最後にはやっと25泳げるようになりました。

### 新しい友だちを見つけよう



柳井中学校 3年 平井 英子

小5の時、阿東町での9日間のチャレンジキャンプに参加しました。長い夏休み、いつもの生活から抜け出して、自然の中で新しい友達をつくってみたいわ。



# 心を磨いたり……

子どもたちにとって夏休みは一年で最大の楽しみです。しかし、長期間学校生活から離れ、ゆったりとした時間を過ごすことのできる夏休みは、心や身体をつくるうえで大切な時間でもあります。そこで「上手な夏休みのすごしかた」を先生や先輩からアドバイス。



## 親子で計画的なすごし方を考えてみよう。

### 中学生は…

中学生になると、子どもたちは心身ともに大きく成長します。

この時期は、それまで頼っていた親から少し離れて、自分なりの考え方や生き方を探し始める時期だといえます。そして、自分で考え、判断して、行動しようとする傾向が強くなります。

子どもたちにとって、そんな時期には、周囲の意見もよく聞いて、しっかりとした目標をもつとともに、自分自身の計画を立てて、それを実行し、最後まで責任をもってやり抜く体験がとても重要になります。

では、夏休みを利用して、どのような活動が考えられるでしょうか。

例えば、親子で地域清掃などのボランティア活動に参加してはいかがでしょうか。ボランティア活動は、心豊かな社会づくりへ貢献する心を育むだけでなく、精神的な充足感や自らの生きがいづくりにもつながるものです。そしてそれは自分というものの大切さに気づくとともに、心の自立に向けての大きな一歩となるでしょう。

また、年齢の異なる友だちが一緒になって、スポーツ・文化活動や青少年団体の活動などに参加することも、仲間と協力する喜びを実感し、心の成長を促すよい機会になると思います。



### 先輩からのアドバイス

#### 新しい発見に胸がわくわく



田布施農業高校 2年 安田 笑子  
中学時代から、酸性雨の研究を続けています。研究の過程で新しい発見があると、次のステップへの意欲がわいてきます。雨の採取や分析で毎日が充実しています。

#### 自然に挑戦



小野田工業高校 3年 長谷川 博  
日頃できないことに挑戦し、体験してみよう。夏は暑いから屋内で過ごしがちだけど、山は涼しくて蚊も少ない。きっと自然は、君に大切なことを教えてくれる。





将来をじっくり考え  
親子で進路を語り合おう

高校生は...

高校時代の夏休みには、特に上級生の場合には自分の進路に対して目的意識をもち、それぞれの能力・適性や興味・関心などを生かしながら、自分なりの生き方を選択する上で、とても大切な時期です。

子どもたちは、大きな夢や高い理想の実現を目指そうとしています。しかし、そのゴールに近づくためには、課題を解決する力や社会生活を送っていく実践的な力を身につけていく必要があります。そこで、親が自分の仕事や人生を通じて学び得たものの見方や自分の経験などを子どもたちに語り、家族みんなで話し合う機会をもってみてはいかがでしょうか。

そうした親と子のコミュニケーションの中で、善悪の判断を教えたり、自分自身の高校時代の経験や、その後に身につけた人生観などを伝えたりしていくことも、子どもにとっては大いに役立つものとなるでしょう。

高校時代は人生の中でも最も多感な時期です。夏休みこそ、親が子どもと向かい合い、コミュニケーションするのに絶好のチャンスではないでしょうか。

先輩からのアドバイス

興味のあることは万難を排して



佐賀大学 4年(関西高校卒) 中村 淳一

夏の吹奏楽コンクールを目指し、毎日サキソフオンの練習に明け暮れました。勉強する時間は、余りなかったけれど、みんなで心を一つにして金賞を受賞しました。

新聞を読む習慣を



日本道路公団(西京高校卒) 久保田 美奈子

毎日、新聞を丁寧に読むよう心がけました。就職試験でも、新聞のコラムから出題されました。

社会の動きやいろんな情報を得るためにも、ぜひお勧めします。

今やらなければ後悔する



県立山口図書館(所沢西高校卒) 小須田 裕

クラスの仲間と文化祭で演じる劇の台本を考えたり、衣装や舞台装置を作ったりして、夜遅くまで語り合えたことで、自分の新たな一面を発見することができました。



# ふれあい交差点

## 人生の大先輩と心のふれあい ～宇部市立琴芝小学校～



公民館の高齢者学級の方々と 年生児童とのふれあい教室が始まって、今年で 4年目を迎えます。お年寄りからお手玉や草笛遊び、竹とんぼ作りなど、道具を使う知恵や遊びの楽しさをやさしく教えてもらい、子どもたちの目は輝きます。



一緒に遊んだ後は、みんなでおいしい給食を食べながら、日頃、お年寄りとのふれあう機会の少ない子どもたちの心も、満たされた思いでいっぱいになります。



## ふるさとの心を伝え受け継ぐ ～須佐町立弥富中学校～



地域の方々と親交を深め、ふるさとを愛する心情を育てるため、全校生徒（3名）で、地元で伝わる神楽舞に取り組んでいます。今年度は、生徒を3つのグループに分けて、それぞれ仲間で話し合いを重ねながら、校内文化祭などの



発表会に向けて練習に励んでいます。月 2回の土曜日には、地域の田原長州神楽保存会の方々に指導者に迎えて、熱の入った練習に子どもたちも次第に興味を持ち始めたようです。

## ふれあいの灯火を永遠に ～県立安下庄高等学校～



毎月の第 2 土曜日、橘町内の特別養護老人ホーム「オレンジ苑」を訪問し、食事の介護や掃除・洗濯のお手伝いをしたり、一緒にゲームや散歩をしてお年寄りとのふれあいを深めています。体験した生徒は、すでに 10



0人のふれあいの灯火を灯し続けたいと思います。人を越えました。寮母さんやホームの皆さんからの「また来てね」を励みに、「一人の百歩より百人の一歩」の精神で、構えず、たんと、今後も

## ふれあい交差点

### ニュース募集のお知らせ

ふれあいニュースは、皆さんと一緒に作るページです。あなたの街の国際交流や青少年プロジェクトなど、「ふれあい」をテーマにしたイベントなどをお知らせ下さい。

連絡先

教育企画室「ふれあい夢通信」編集室

# 山口県の学校ではいじめをなくす

## 小学校では

下松市立下松小学校

### 他人の気持ちを思いやるやさしさを

下松小学校では、子どもたちが「思いやり宣言」をつくり、「思いやりの心を育む教育活動」に取り組んでいます。

児童会役員が中心となって登校時にあいさつ運動を展開し、明るく元気なあいさつで一日の生活にはずみをつけています。



また、先生が、学校の行事や会議のない日をつくり、子どもたちとゆっくり遊んだり話したりする時間をとって、心のつながりを深めています。



昨年の、「思いやり見つけた集会」では、各学年で児童手づくりの劇を演じました。その劇の中には、手話を取り入れたり、6年生が「侘生を助けたことを劇化したりしたものがあり、大いに盛り上がりました。

この集会の最後には、児童が作詞し、先生が作曲した「思いやり賛歌～こんな私になりたいな～」も合唱しました。

このように様々な活動の中で、他人を思いやる心や、感動する心を育てていきたいとのことでした。

## 中学校では

下関市立長成中学校

### 個性を認め合い ふれあう心を大切に

「見つめていますか一人一人を ふれあう心大切に」これは、生徒会主催の「いじめについて考える集会」で採択されたスローガンです。このスローガンのもと、長成中学校では、生徒会を中心にいろいろな活動に取り組んでいます。



例えば、特別養護老人ホーム「みどり園」を訪問し、ガラス拭き、草むしり、食事の付き添いや、歌を歌うなどのボランティア活動をしています。昨年の暮れには、みんなでベルマークを集めて車椅子 2台を贈呈しました。これには、保護者の熱心な協力もあり、1万点を集めることができ、万々歳でした。



また、生徒たちは、精神薄弱者授産施設「大藤園」での親睦ソフトボール大会もとても楽しみにしています。園生もこの大会を待ち望んでおり、当日は車椅子でバッテリーボックスに入って活躍する人もいました。

こういった様々な人たちとの貴重なふれあいは、感動ある体験となっているようです。



# ためにこんな取り組みをしています。

## 高校では

県立山口高等学校

### よりよい環境づくりを目指して

平成 9年 2月の生徒総会で、「いじめについて、話し合う場を設けてはどうだろうか」という提案があり、多数の賛成を得て、生徒会執行部で取り組みを始めました。

まず最初に生徒 1, 2名全員に対してアンケートを実施し、



その調査結果をもとに、文化祭で「いじめに関する創作劇」を発表することになりました。

この劇は、アンケート結果から傍観者に視点を置いてシナリオが作られました。そのストーリーは、いじめられている生徒をかばった生徒が、逆にいじめの対象になってしまいますが、ずっといじめを傍観していた生徒の一人が、最後に勇気を出して「もうやめようよ!」と叫び、「この勇気がいじめに関わる



人の苦しみを救うことができるのではないか」と独白して終わるものです。

この劇について、生徒たちの反応は様々でしたが、傍観することもいじめだということを再認識してもらえたのは確かです。今後、学校では、いじめが起こらない環境づくりに努力していきたいとのことでした。

## ポヨッ! Penちゃん

① 知らん顔

絵: わだかづよ



モ)は 考えよう。取り方ひとつ! たまには あなたもペンちゃん してみたら? 人生すこ〜し楽になる…かも??

専門家からの  
一言

### いじめっ子の 胸のうち

いじめを肯定する人はいませんが、親としてば「それくらい強い方がたくましくて...」という思いも心の片隅にあるのではないのでしょうか。でも、それはちょっとの嫌がることをのは、その子自身の(ストレスを受けて自分を傷つけた対張を、いじめという(無抵抗な子)に向け、らわしている本当傷つきの源は、友達校生活の中にある族との関係や地域

山口県みほり学園  
心理治療部主任  
高田 晃



と考えものです。しても平気という心が傷ついている証です。本来象に向けるべき主攻撃的な方法で他心の傷つきをまぎは弱い子なのです。関係や勉強など学場合もあれば、家社会との関わりの中にあることもあり、本人も自覚できていないことがあります。いじめの卑劣さ、相手の傷つきを判らせることに加え、いじめっ子の攻撃性の背後にある傷つきを解決していくことが大切です。そのためには、まず私たち大人が、知らないうちに子どもの心を傷つけていないか、考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

1998年7月～9月 子どもたちと一緒に参加、見学できるイベント案内

ピサロ展

— 印象派の巨匠とピサロ家の画家たち —

小・中学生を対象にしたミュージアム・トーク、親子で見る印象派の世界(ピサロってだあれ)を開催します。  
日時 8/7(土)～8(日) 18時～22時(入館)

お問い合わせ  
県立美術館  
0839(25)7788



ダイナモくんを作ろう



手回し発電器によって電力を蓄え、ラジオや非常灯として使える「ダイナモくん」をみんなで作ってみませんか。  
日時 8/5(水)～8(土) 18時～20時  
お問い合わせ  
県立山口博物館  
0839(22)0294

フィッシング&サンドアート

釣りを体験したり、砂の芸術作品を創ったりすることを通して、自然の中で家族のふれあいを深めてみませんか。  
日時 8/2(土)～3(日) 10時～16時

お問い合わせ  
県教育青年の家  
0839(22)4730



Meet the Sailing '98

～ 風・波・ふれあいを求めて～



風光明媚なセーリングスポット、光の海を舞台にファミリーヨット教室を開催。家族でヨットを楽しんでみませんか。  
日時 8/2(土)～3(日) 10時～16時  
お問い合わせ  
県スポーツ交流村  
0839(71)1144

天体観測入門

天体望遠鏡を自分で操作して、月のクレーターや土星の環、夏に見られる代表的な星雲や星座を観察してみませんか。  
日時 8/2(木)～3(金) 18時～21時

お問い合わせ  
県教育研修所  
0839(87)1160



どつきり！ドキドキ秋のビッグ体験



きのこ狩り、石城焼、レクリエーションを通して親子のふれあいを深めながら家族で秋の自然を楽しんでみませんか。  
日時 9/1(土)～2(日) 10時～16時  
お問い合わせ  
県石城山青少年宿泊訓練所  
0820(48)2108

イベントカレンダー

7/2(水)～8/3(日)  
おもしろ電気実験室  
県立博物館  
08(32)9294

7/2(土)～8/2(日)  
昆虫教室  
県立博物館  
08(32)9294

8/2(日)  
親子の化石観察会(豊北町)  
県立博物館  
08(32)9294

8/6(木)～8/7(金)  
子ども科学教室  
県教育研修所  
08(38)97160

8/1(水)  
親子の化石観察会(山陽町)  
県立博物館  
08(32)9294

8/2(土)  
日食を見る会  
県立博物館  
08(32)9294

9/1(土)～9/1(日)  
さざ波キャンプ i 油谷  
県油谷青年の家  
08(33)71000

9/2(水)  
音ズレのかたち  
中国古代楽器「磬(けい)」  
づくりに挑戦  
県立萩美術館・浦上記念館  
08(32)92400

9/2(土)～9/2(日)  
秋吉台ナイトウォーク  
県秋吉台青少年宿泊訓練所  
08(8)706106

編集室より

「教育ビジョン」を存じますか？

21世紀が間近に迫り、国際化や情報化、高齢化など子供たちを取り巻く環境が大きく変わりつつあります。また、いじめや登校拒否、青少年犯罪の増加など深刻な問題も依然として後を絶ちません。

こうした中、山口県の教育は、いったい何を目標にどういった教育を進めていけばいいのか、子供たちをどう育てていけばいいのかなど、今後の本県教育の指針を定める必要があることから、今回、県教委では「山口県教育ビジョン」を策定しました。ビジョンは、「夢と知恵を育む教育の推進」の基本目標の下、三つの力(学力、創る力、生き抜く力)と三つの心(広い心、温かい心、燃える心)の育成を視点とし、生涯学習、学校教育、社会教育、文化、スポーツ、時代の進展への対応の六つの柱に沿った施策推進の方向を明らかにしています。

今後、市町村や関係団体との連携を深めながら、教育委員会丸となってビジョンの実現に取り組む夢を実現するための意欲と活力にあふれた子供たちを育成して行きたいと考えています。

\*\*\*\*\*  
新しい教育広報誌「ふれあい夢通信」をお届けします。初めての号はいかがでしたか。この広報誌は、教育に関して行政・家庭・学校・地域が、ともに語り合い、親子のコミュニケーションにも役立つ情報を提供するものです。

これから季節に合わせて、学校や教育関係機関及び保護者の皆様方にお届けいたしますので、ご愛読いただきますようよろしくお願いいたします。本誌に関するご意見やご感想などがあればお気軽にお寄せ下さい。

山口県教育庁教育企画室  
0839(33)4531